

# たいよう

発行所  
太洋基礎工業(株)  
たいよう新聞委員会

## 最前線レポート

工事名

(仮称) オークワ春日井店

新築工事

工事場所

愛知県春日井市熊野町地内

発注者

株式会社 オークワ

株式会社 中部都市建築

設計事務所

元請業者

株式会社 高柳組

施工期間

令和四年八月一日

～九月一六日

施工概要

スラリ式攪拌工

(深層混合処理工法)

SATコラム工法

Φ一〇〇〇mm×八二本

Φ一四〇〇mm×五一一本

設計基準強度

土間下

Fc=一三〇〇KN/m<sup>2</sup>

基礎下

Fc=一〇〇〇KN/m<sup>2</sup>

本工事の目的は、地域住民の生活を支えるスーパーマーケット建設です。そのうち当社は地盤補強工事を担当しました。現場は、JR中央線「神領駅」から徒歩数分の住宅街の中にあり

ます。現地は、濃尾平野と尾張丘陵に広がった地域であります。地盤概要は、表土から約3m程度が、N値五前後の軟弱地盤層(シルト混り砂層)が続き、その下に支持層である砂礫層(礫混り砂)からなる地層でした。上層部の軟弱地盤層の対策として、SATコラム工法が採用されました。

施工時期はお盆明け以降の着手で、昨今の夏の風物詩である夕立と台風が発生する時期と重なりました。さらにゲリラ豪雨で尋常でない降水量の雨にも悩まされました。現場の地盤は、施工基面を50cm程度地盤を下げていきましたがそれが仇となり、大雨のあとはほぼプール状態になりました。雨水対策として、元請様には機動性が高いインチで昼夜に稼働できるオート起動タイプ(水中感知型)の水中ポンプを設置してもらいました。現地の高低差と施工の進捗を検討し、低い位置に集水を数カ所設置し、雨水排出の対策を行いました。

今回の現場は、事前に現地の土を採取し、室内配合試験を行いました。その結果、水セメント比七〇%の設定で良質な改良杭の築造を出来ることがわかりました。雨水による水セメント比の増加によって、事後の調査では設計強度を満たさない可能性があると思われたため、施工

に際しては大量の雨水による影響が無い様に注意深く行いました。また雨が降らない時の表土は固く問題ないのですが、ほぼ毎日の夕立によって、ぬかるんだ状態が続くと、使用重機(GI130、二五ton級)の転倒が懸念されました。数年前から重機も年々大型化し、大きい改良径の採用が多くなってきました。関東方面では、転倒防止のため重機足場の鉄板敷は五・二〇(二・五m×六・〇m)が重機一台につき二〇枚は必要でした。

そんな鉄板を敷くことも一、二枚なら簡単ですが、二〇枚を敷く手順を間違えると逆に地盤を乱してしまう事も考えられます。鉄板敷作業は簡単に考えられがちですが、危険が沢山潜んで

います。五・二〇の鉄板の重量は約一六tあり、吊具・揚重機の選定、作業半径の確認等の事前の計画が重要となります。重機の大型化や改良径の大型化は進んでいます。重機の転倒は重大災害につながります。何事も足元(土台)が重要です。

今後も初心を忘れず、施工管理を行っていくかと思っております。この記事を書いていく時にふと頭に浮かんだ言葉です。「簡単なことを難しくする事は誰にでも出来る。難しい事を簡単にするのは難しい。難しい事を簡単にこなす人は一流の人だ。」今井元社長の言葉です。全てが

しまいましたが、それは「慣れ」から起こるその慣れが蓄積された事故そのものでした。以前、たいよう新聞で早くに仕事に慣れることは作業性において良い事ですが、現場に対する違和感や緊張感が薄れることがありと記載がありました。

安全において「いつもどおり」という言葉は曖昧で、現場によってそれぞれの現場条件があるのでその言葉は排除しないと危険が潜んでおり、その各々の危険な要因を解消するために危険予知活動を行うことが一つの安全対策です。また、その前には全員が安全に作業できるように打合せを行い、施工計画に対して作業従事者全員がその作業手順を周知することも対策の一つです。そして、その作業はその目的のために連帯責任で作業を行うため、誰か一人でもその手順が危険と感じたらたとえ間違っていたとしても勇気をもって声を

にあげ、作業を一旦止める必要があります。そのためには、誰もが全国各現場で起こった事故事例、また元請様よりいただく事故事例は必ず共有し、各現場で危険予知のために有効利用することが大切です、それが対策となります。

よく、過去は変えられないが、未来は変えることができると言われる。正にそれを再発防止策とし、自身の言動を改め災害ゼロを目指すことが重要なのではないでしょうか。

最後になりましたが、今年も残りわずかです。安全に品質の良いものを納め、健康に留意して日々の業務に努めましょう。そして、良い年を迎え、それが継続できるよう頑張ります。

大阪支店 環境開発部  
柴原 浩介

常には、感謝の気持ちを忘れず良質工事に今後も努めてまいります。

名古屋支店 環境開発部  
係長 後藤 亮一

## 声援

一二月に入って、夜中に霜が降りるほど、本格的な寒さの頃となりました。全国の社員の皆様、いつもご協力いただいております協力会社の皆様、毎日寒い中本にお疲れ様です。猛暑が続いたと思えば、すぐに秋もとり越して厳しい冬の季節となりました。感染者が再び増加傾向にある新型コロナウイルスに加え、今シーズンはインフルエンザが流行すると言われております。現在は流行までには至らず微増している様子ですが、専門家は油断せず両方を抑える対策が必要だとニュース等で注意を呼び掛けています。様々な対策が必要となりますが、皆様、体調管理には十分に気を付けてください。

大阪支店では一二月七日から九日までの三日間「メンテナン・ス・レジエンスOSAKA2022」が開催され、そのうちの一つである地盤改良展に出席しました。若手社員にてブースが設営され、また、開催中は若手社員が率先して営業活動を行いました。

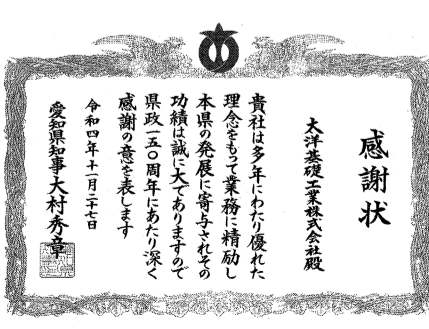
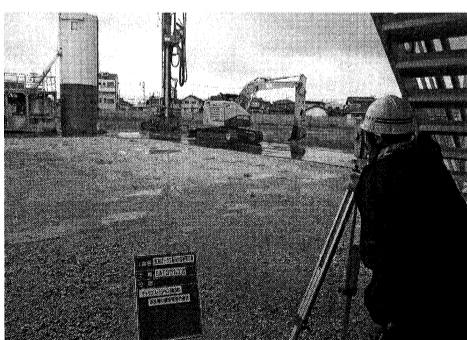
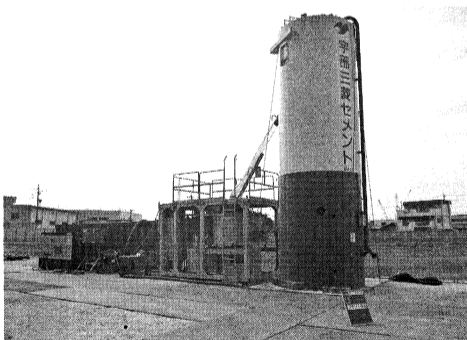
彼らは各種工法の全てについて熟知してはいませんが、必死に伝えようと一生懸命な姿を遠くから見て私は感銘を受けました。私が日頃教えているときはすぐに口を挟んだり、経験上で考えを押し付けてしまったりしていましたが、彼らは彼なりに自ら考え、自分自身で動くこととしていたので今後は遠くから見守り、然るべきときに助言することを今回学びました。

また、多くの来場者が来られたことで営業展開の一つのツールとなったのではないのでしょうか。ブースにお立ち寄りいただきました方々に紙面をお借りして御礼申し上げます。

先日、大阪支店環境開発部で残念なことに事故を起こして

感謝状

貴社は多年にわたる優れた理念をもって業務に精励し、本県の発展に寄与されその功績は誠に大であります。東政五〇周年にあたり深く感謝の意を表します。  
令和四年十月二十日  
愛知県知事 大村秀章



# 先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2022に出展しました

熊本県は平成二十八年の熊本地震、令和二年七月豪雨災害などの自然災害により甚大な被害を受けました。このような中、安心・安全な社会基盤構築を目的に、『先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本2022』が一月九日(水)から一〇日(木)の二日間わたって、熊本市郊外にあるグランメッセ熊本で開催されました。

今回の熊本での出展は先月の福岡に引き続き「CCC工法」を選定しました。また、プース対応者の効率から、RBPウォール工法協会と並列のプース配置とさせていただきます。CCC工法の優位性が示される土質条件は転石や礫交じり層、それにN値の測定ができないような硬質地盤層においてです。プースの展示は、昨年制作した①展示パネル(七枚)と②動画(大洋基礎工業版)に加え、今年六月に完工した北九州市金山川の施工トビックスを展示しました。さらに、現場から掘削された岩石破片と掘削摩耗したビットなどの現物をプース入り口に展示しました。この岩石破片は圧縮強度三〇〇〜一〇九N/mm<sup>2</sup>の花崗岩で、岩石区分では中硬岩に分類されます。プース来場者への説

明は、自然とこれら現物を説明することに終始するケースが多かったようです。又、三〇分のプレゼンテーションにおいても、工法のキャッチコピーである「CCC工法は硬質地盤や転石があっても地中連続壁施工が可能」をベースに、この北九州の実績報告によって、よりインパクトのある発表となったものと確信しています。

熊本県は災害関連のインフラ投資が活発に行われています。又、台湾の世界的な半導体メーカーTSMCの熊本新工場建設により、今後一〇年で四兆三千億円の経済効果が予想されるというところで、関連企業の進出による建設投資も盛んになってきています。これを反映してか、



今年のフェアは昨年より活況を呈したものであり、弊社プースへの来場者も昨年の一・七倍の六五名を数えることとなりました。

CCC工法は、コンサルタントへの設計折込において、他工法との工法比較により、明確な優位性を示すことができました。また、施工会社にとっては、一般競争入札時の有力な技術提案となりえます。今後も、CCC工法が、九州支店にとって有力な柱の工法となるよう、さらに実績を積み重ねていく営業環境を整えられたらと思います。

最後に、プースにお立ち寄り頂いた方々、貴重なアドバイスを頂いた方々に深くお礼申し上げます。

九州支店 営業部  
次長 石渡 裕一郎

# Construction Knowledge展しました

今年も『建設技術展2022 関東』が一月一六・一七日の二日間、昨年と同じく池袋のサンシャインシティ展示ホールにて開催されました。

この展示会は日刊建設工業新聞社の主催で、最新・最先端の建設技術・サービスを見て体験できる二日間との打ち出しで、今年も二日間約一〇〇〇名の来場者がありました。

昨年より同様に池袋のサンシャインシティ展示ホールにて開催されました。

この展示会は日刊建設工業新聞社の主催で、最新・最先端の建設技術・サービスを見て体験できる二日間との打ち出しで、今年も二日間約一〇〇〇名の来場者がありました。

昨年より同様に池袋のサンシャインシティ展示ホールにて開催されました。

この展示会は日刊建設工業新聞社の主催で、最新・最先端の建設技術・サービスを見て体験できる二日間との打ち出しで、今年も二日間約一〇〇〇名の来場者がありました。

昨年より同様に池袋のサンシャインシティ展示ホールにて開催されました。

この展示会は日刊建設工業新聞社の主催で、最新・最先端の建設技術・サービスを見て体験できる二日間との打ち出しで、今年も二日間約一〇〇〇名の来場者がありました。

認知度アップに繋がっています。また、会場にご来訪くださった方々との繋がりを大切に、今後の営業活動に大いに生かしていく事が重要です。その他に同時に出展されている他企業様のプースを訪問し、情報交換を行い見識を広げつつ弊社の今後に役立つかもしれない技術を吸収する事もできるため、非常に有意義な場であると思います。

今回弊社プースにご来訪下さった皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

来年も出展するかと考えています。さらに工夫した展示プースにし、その際はまた多くの方にご来場いただければ幸いです。

東京支店 副支店長  
鍋嶋 直樹



# 一年間ありがとうございました

令和四年もあと僅かとなりました。今年一年たいよう新聞編集のため、忙しい合間に記事を提供して頂いた皆様に感謝申し上げます。

たいよう新聞は、昭和六三年(一九八八年)八月一日の第一号発刊から今月で四四三号となりました。歴史ある新聞の編集に携われ、大変嬉しく思っています。

今後の紙面充実のため、来年もさらに協力して頂ければ幸いです。皆様よろしくお願致します。

たいよう新聞編集委員  
小崎 賢

# 名城大学附属高等学校の生徒が 職場訪問で来社しました

## 職場訪問で来社しました

令和四年一月一日、愛知県名古屋市内にあります名城大学附属高等学校の生徒の皆様が、本社・名古屋支店の事務所にて、職場訪問で来社されました。昨年引き続き二回目の来社となります。「産業社会と人間」という授業の一環として、学生の社会理解・職業理解を深めることを目的とした「職業人訪問」という企画で、企業・団

体に赴き実際に働いている人の様子を観察し、その人たちから話を聞くことで、仕事に就くとはどのようなことを考えるための取り組みです。

昨年は、事務所内の仕事風景を見学に来社されるという初めての試みであったこともあり少々戸惑いましたが、今年は前回の経験を踏まえ、前段取りからスムーズに準備することが出

来ました。高校生の方でも分かり易い内容にまとめた資料を作成し、当社の工事内容と工事によってどのような社会的役割を果たすのかをまとめました。また、会場には重機の模型を展示することで、より当社の仕事についてイメージしやすいよう工夫しました。

当日は、男子学生二名、女子学生二名、先生一名の計五名が来社されました。四名とも高校一年生の皆様でしたので、制服姿がとて初々しく映りました。まだ学校に慣れてきたばかり

来ました。高校生の方でも分かり易い内容にまとめた資料を作成し、当社の工事内容と工事によってどのような社会的役割を果たすのかをまとめました。また、会場には重機の模型を展示することで、より当社の仕事についてイメージしやすいよう工夫しました。

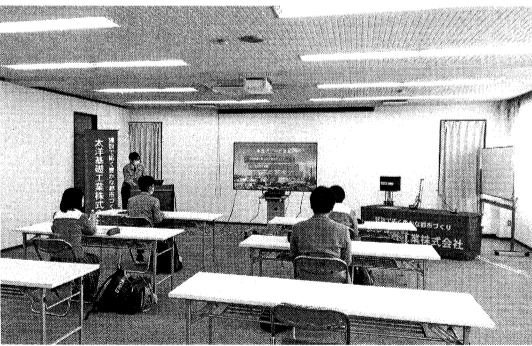
当日は、男子学生二名、女子学生二名、先生一名の計五名が来社されました。四名とも高校一年生の皆様でしたので、制服姿がとて初々しく映りました。まだ学校に慣れてきたばかり

来ました。高校生の方でも分かり易い内容にまとめた資料を作成し、当社の工事内容と工事によってどのような社会的役割を果たすのかをまとめました。また、会場には重機の模型を展示することで、より当社の仕事についてイメージしやすいよう工夫しました。

当日は、男子学生二名、女子学生二名、先生一名の計五名が来社されました。四名とも高校一年生の皆様でしたので、制服姿がとて初々しく映りました。まだ学校に慣れてきたばかり

来ました。高校生の方でも分かり易い内容にまとめた資料を作成し、当社の工事内容と工事によってどのような社会的役割を果たすのかをまとめました。また、会場には重機の模型を展示することで、より当社の仕事についてイメージしやすいよう工夫しました。

当日は、男子学生二名、女子学生二名、先生一名の計五名が来社されました。四名とも高校一年生の皆様でしたので、制服姿がとて初々しく映りました。まだ学校に慣れてきたばかり



# 共済会だより

☆お悔やみ申し上げます  
一月二〇日  
故 佐藤 成司 ご尊父様  
東京支店 工事部  
佐藤 智成 合掌

☆ご出産おめでとうございます  
二月一〇日  
平松 愛理ちゃん 次女  
名古屋支店 営業部  
平松 俊輝